ＦＣ１３３１取扱説明書

フロント／センター用スピーカー　（１本で３チャンネル）

『ドコデモ』（サラウンドスピーカーセット）において、フロントＲ（ライト）、フロントＬ（レフト）とセンタースピーカーの３チャンネルの役割を果たします。

＜正面図＞

＜背面図＞

●サイズ：２１０φ×４００mm
　（付属の台座に載せた状態で、高さ３１０mm）
●質量：４,２００ｇ
●使用ユニット（ＦＲ・ＦＬフロントスピーカー）
　１０ｃｍコーン型×２
　インピーダンス：８Ω　許容入力　１５Ｗ
　最低共振周波数：８０Ｈｚ
　再生周波数帯域：f_0～２２ｋＨｚ
●使用ユニット（Ｃ　センタースピーカー）
　５ｃｍコーン型×１
　インピーダンス：４Ω　許容入力　２０Ｗ
　最低共振周波数：１６０Ｈｚ
　再生周波数帯域　f_0～２０ｋＨｚ

（スピーカーケーブル３ｍ×３本付属）

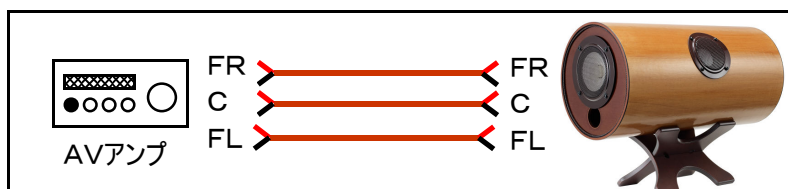
ＦＣ１３３１とアンプとの接続方法

＜背面端子部＞

ＦＲ（フロント右）
＋（赤）、－（黒）

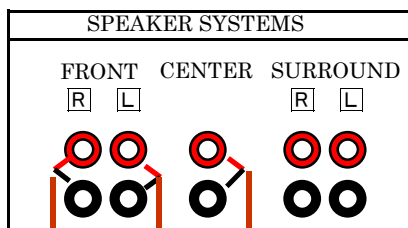
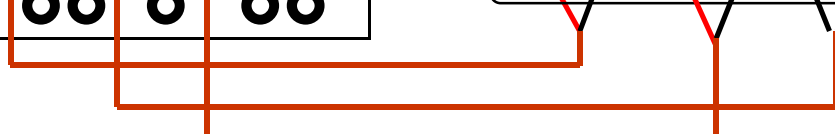
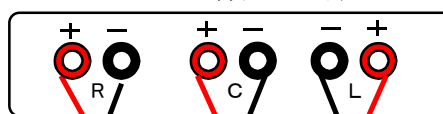
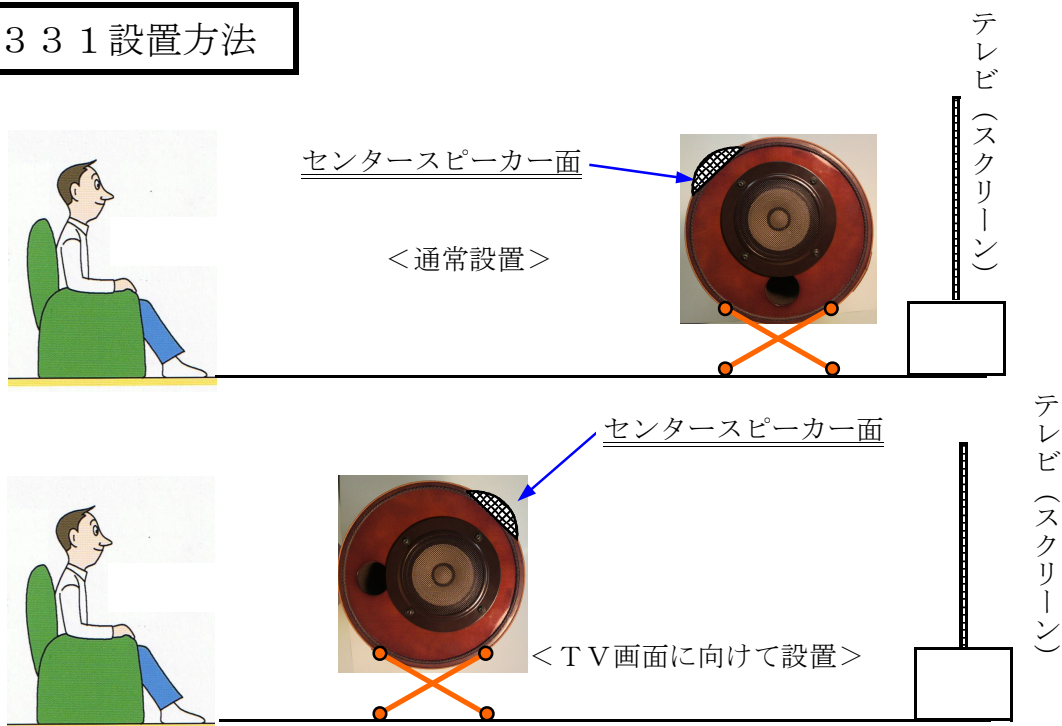
Ｃ（センター）
＋（赤）、－（黒）

ＦＬ（フロント左）
－（黒）、＋（赤）

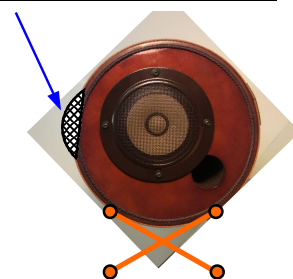
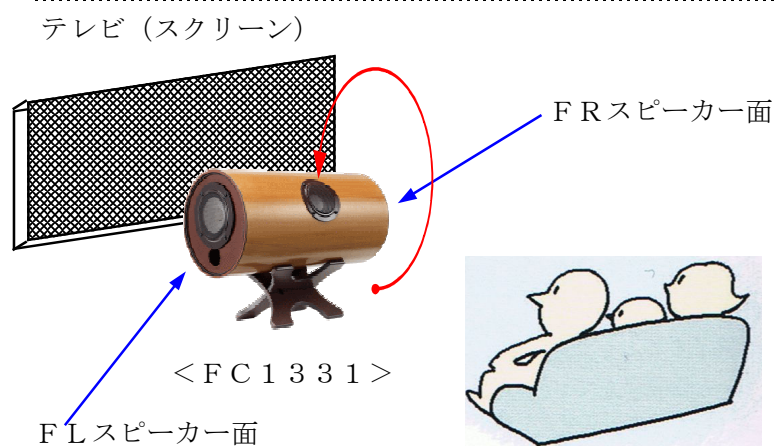
ＡＶアンプ（サラウンドアンプ）のスピーカー接続端子のフロントのＲＬとセンターの端子と、ＦＣ１３３１の各端子の赤と黒の色を合わせてスピーカーケーブルで接続して下さい。ＦＣ１３３１のＦＲとＦＬの端子の赤と黒は左右の配置が違いますのでご注意下さい。

スピーカーとアンプの接続はＭＳシリーズの取扱説明書をご参照下さい。

（アンプのスピーカー端子は機種によって配置が異なりますので、アンプの取扱説明書をご参照下さい。）

＜ＡＶアンプ背面端子部（例）＞

＜ＦＣ１３３１背面端子部＞

ＦＣ１３３１設置方法

※ＦＣ１３３１は、テレビ（スクリーン）とリスナーの間に設置して下さい。

通常はテレビやスクリーンの近くに設置し、サイドダクトがＦＬ、ＦＲのスピーカーの下にある位置が標準ですが、お部屋の状況により、リスナーとＦＣ１３３１が近くなる場合には、センタースピーカーの向きをテレビやスクリーンに向けて設置することも出来ます。

お好みによっては、右図のようにセンタースピーカーをリスナーに向けて設置することも可能です。お好みの位置でお楽しみ下さい。

※センタースピーカーがどちらを向いていましても、リスナー側からＦＣ１３３１を見て、右サイドがＦＲ、左サイドがＦＬとなるように設置してください。

左図の場合にセンタースピーカーの向きをスクリーン側に向ける時には、そのままの位置で赤い矢印の方向に回転させて、センタースピーカーの向きを合わせ、ＦＲとＦＬのスピーカー面の向きは変えずにご調整下さい。

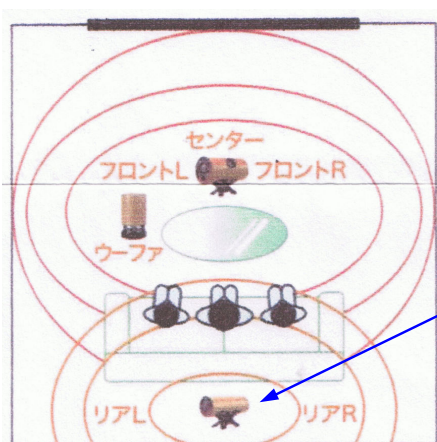
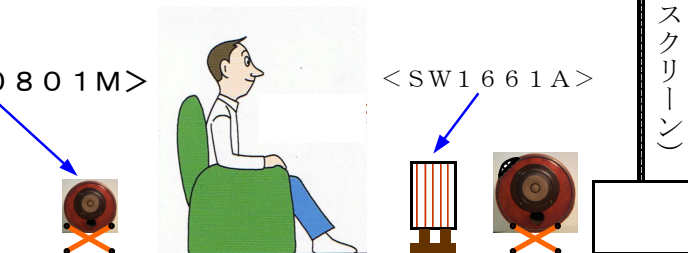
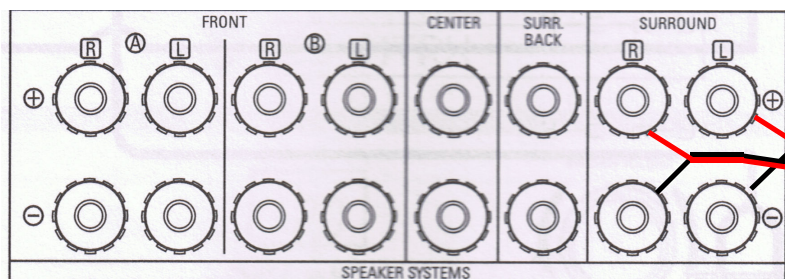
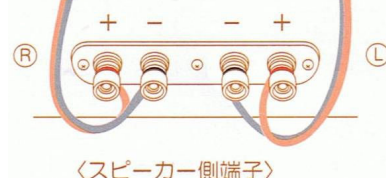
※電源が入ったまま接続作業をしますと接続コードのプラスとマイナス、またはＬとＲの端末部が接触し、ショートする為、内部の電気回路やケーブルが故障する場合があります。
接続コードをアンプやスピーカーと接続する際には、必ずアンプの電源を切ってから行ってください。

「ドコデモ」用サラウンドスピーカー　（１本で２チャンネル）

ＭＳ０８０１Ｍ取扱説明書

●サイズ：１６０φ×４００㎜
（付属の台座に載せた状態で、高さ２７０mm）
●質量：２,６００ｇ
●使用ユニット（ＳＲ・ＳＬフロントスピーカー）
８ｃｍコーン型×２
インピーダンス：８Ω　許容入力　１０Ｗ
最低共振周波数：１４０Ｈｚ
再生周波数帯域：f_0～２１ｋＨｚ

（スピーカーケーブル１０ｍ×２本付属）

＜ＭＳ０８０１Ｍ設置例＞

＜ＭＳ０８０１Ｍ接続図＞

お使いのＡＶアンプのサラウンドスピーカーの端子とＭＳ０８０１Ｍをスピーカーケーブルで接続します。
ＡＶアンプのスピーカー端子は機種によって名称や配置が異なりますので、ＡＶアンプの取扱説明書をご参照下さい。
スピーカーとアンプの接続はＭＳシリーズの取扱説明書をご参照下さい。

※リアルシアターサウンド「ドコデモ」のサラウンド用スピーカーＳＲ／ＳＬには、ＭＳ０８０１－Ｍの他エムズシステム社製ＭＳ０８０１シリーズ、ＭＳ１００１シリーズのどのタイプでもご利用いただけます。既に波動スピーカーをお持ちであれば、「ドコデモ」のサラウンド用スピーカーとしてお使いいただけます。

※電源が入ったまま接続作業をしますと接続コードのプラスとマイナス、またはＬとＲの端末部が接触し、ショートする為、内部の電気回路やケーブルが故障する場合があります。
接続コードをアンプやスピーカーと接続する際には、必ずアンプの電源を切ってから行ってください。